

マリッジ・エンカウンターとは？

◆ 「マリッジ・エンカウンター(ME)」は、結婚した夫婦のための体験で、世界的に行われているものです（現在までに開催された国は 100 ヶ国以上に及びます）。「ME」という言葉を文字どおりに訳すならば、「結婚生活のさまざまな状況の中での、新たな出会いと発見」とでも言えるでしょう。つまり、44 時間に及ぶこの体験の目指すところは参加する夫婦が一人として、また結婚生活をともに生きるふたりの人間としてその両方の立場から、新しいやり方で自分達自身と出会い、これを発見することです。「ME」という言葉に含まれる様々なニュアンスを一言で表わす日本語はありませんので、英語をカタカナにしてそのまま使っています。

◆ 普通の夫婦の日常生活に起こるあらゆる事柄に、この「出会いと発見」は存在します。その「出会いと発見」はとても素晴らしいことであるにもかかわらず、うっかり見過ごしてしまい取り上げられないまま終わってしまうことがよくあります。たとえば、愛・一致・希望・受け入れ・理解・信頼・和解・(神を信じている人ならば) 神との関係をいかに深めるか、などです。

◆ 生活の雑事から解放されたとても落ち着いた環境の中で「ME」は行われます。そのおかげで夫婦は、互いに疎外感を受けることのない成熟さと理解とをもって、自分達の結婚の否定的な側面と向き合えるようになります。また同時に、既にもっている多くの肯定的な面をも再発見でき、大きな喜びを味わえます。

誰のためのものですか？

♥ 「ME」は、結婚しているすべての夫婦のためのものです。
♥ 自分達の結婚生活を少しでも良いものにしたいた夫婦のためのものです。すなわち、夫婦が…
⇒ 既によく通じ合っているなら、一層結婚生活を深めるため。
⇒ 余り通じ合っていないなら、その状況を改善するため。
⇒ 全く通じ合いがないなら、夫婦の愛と通じ合いを取り戻すため。このように心を開こうとしている夫婦なら、カトリック信者であるなしに係わらず、どなたでも参加できます。

マリッジ・エンカウンター (ME*)の概要

参加者は、利用する施設や都合によって若干ことなりますが大体 8 組から 20 組位までです。カトリックの司祭と、ME を既に体験したことのある夫婦 3 組が「チーム」として、参加する皆さんのお世話をします。国民の祝日や連休を利用して実施する場合をのぞき、普通は金曜の晩から日曜にかけて行われます。プログラムの具体的な流れは下記の通りです。

* (Marriage Encounter の略)

1. チームの講話、実生活に基づいた分かち合い

結婚生活の様々な視点か 9 つの講話があります。チームの司祭から各段階ごとの目的や重要ポイントについての導入があり、その後チームの夫婦（「チーム・カップル」）が、それぞれ自分達の実生活の体験を分かち合います。単なる知識に終らず、実体験に基づいた話を中心ですから、参加者の皆さんの心にひびくものです。

2. 個人的内省

それぞれの講話の後、参加者の皆さんにいくつかの質問からなる課題が配られます。各々が今の自分にピンと来る質問を取り上げ、個人で内省し、それをノートに書きます。課題の質問が問いかけるのは、一般論を求めめるためのものではなく、夫婦の実際の生活に踏み込んだ具体的な内容です。

3. 夫婦での分かち合い

夫婦は自分達の個室でお互いのノートを交換して読

み、深い信頼とオープンな心をもって、ふたりだけで分かち合いをします。ほかの人達の前でその内容を話すことは一切ありません。

自分の配偶者が正直に分かち合っている姿を見、また心から受け入れられているとの安心感から、「ありのままの自己」を発見する大きなチャンスになります。そのためにもこの時間は、相手にコメントしたり議論に費やすものではありません。この様な流れに沿って、参加夫婦はお互いの通じ合いを深め、夫婦としての喜びを味わい、自分達の結婚生活に内在する素晴らしい可能性を発見します。皆さんの自発的な参加によって、その効果はさらに大きなものとなるでしょう。「チーム・カップル」の役割は、新しい知識を提供することではなく、夫婦としての出会いに役立つ事柄を皆さん自身が発見できるよう、そのきっかけを与え、また自由に分かち合える雰囲気を作る手助けをすることにあります。

ME とは次のようなものではありません。

- ・グループ・トレーニングではありません。グループでの話し合いでもありません。ME の理念をはっきり表明することはあっても、参加者の皆さんの自由や考えを無視したり、強制するようなことは決してしません。
- ・おふたりの関係を満足させる万能薬ではありません。
- ・過去の失敗や欠点などをほじくり返すようなものではありません。

年	月	日	月	日	マリッジ・エンカウンター参加申込書	
ふりがな					所属教会(あれば)	紹介者
氏名(夫)						
(妻)						
住所〒					電話番号:	

・黙想会、研修会、練成会、カウンセリングなどではありません。ここで学ぶことはすべて、実生活に役立つことばかりです。

つまり、ME は全くオリジナルな体験ですから、他の集いを通して説明することはできません。

参加するためには宗教が必要ですか？

ME は、カトリック教会の中で始まったものですが、特にカトリック信者のため、あるいは信仰を深めることを主目的とて作られたものではありません。(結果として信仰が深まりはしますが …) ですから、参加するために、信仰を持っている必要はありません。これは参加する皆さんがおふたりの、夫婦としての生活の意義を、より深く見つめられるために作られたものなのです。

その背景と広がり

ME は、「主において一致した家族」をその目的とする FIRES (ファイアーズ) プログラムのひとつです。FIRES は、「ME」の創始者ガブリエル・カルボ神父様によって創立されたプログラムで、「主によって一致した家族」をその目標に掲げています。FIRES は「家族」「通じ合い」「関係」「体験」「奉仕」の英語の頭文字を取ったもので、「家族が深く通じ合えば関係はより深まり、その体験のおかげでより奉仕するようになる」ことを意味しています。

ME 以外にも、個人・子供・家族・婚約者・司祭など各々のためのエンカウンターが FIRES のプログラムの中にあります。ME は、これを含むプログラムの総称が FIRES と呼ばれる以前 (1961) にスペインにおいて、創始者ガブリエル・カルボ神父様と何組かの夫婦によって作られました。以来、世界的に広がりを見せ、現在までに開催された国は 100 におよび、さらに広がっているところです。日本初のは 1972 年群馬県・桐生市で行われ、以来日本全域に広がりつつあります。

効果的ですか？

参加者からの声の代表的なものを以下にまとめてみました。

- ・「結婚生活という召命の大切さを実感した。」
- ・「自分の配偶者に対してオープンになり、和解の喜びを体験し、和解の大切さを実感するだけでなく、今までうまく行かなかった夫婦・家族の危機を乗り越えた」
- ・「配偶者だけでなく、親子・家族・友人・自分自身さらには神様に対してオープンであることの大切さを認めた」
- ・「人生・結婚などに関する正しい価値観を知り、自分達の生き方・生活を見直し改めることができた」
- ・「信仰を生活の中で生き生きとしたものとして捉えるようになった」
- ・「自己との出会いを体験し、自分自身・夫婦・家族・仲間などの素晴らしい可能性に気付いた」
- ・「夫婦・親子・家族・友人などの人間関係の危機は、必ずしも絶望をもたらすものではなく、むしろ成長の素晴らしいチャンスであると知った」

費用は？

行われる地域や使う施設によって多少の差はありますが原則としてお一人 12000 円程度です。なお、お金がないという理由で参加をお断りすることはありません。

マリッジ・エンカウンターに関するお申し込み、お問い合わせは下記までお寄せください。

FIRES

106-0032 東京都港区六本木 4-2-37

フランシスカン・チャペルセンター

電話 03-3401-2141 ファックス:03-3401-2142

Home page: www.holistic-family.org

email: donnon.murray@holistic-family.org



マリッジ
エンカウンター